

市長賞



ちょっと いっぷく
小渕 恵子

津市議会議長賞



睡蓮 一彩の音色—
山川 めぐみ

津市教育委員会教育長賞



望 遠
岩佐 清道

岡田文化財団賞



冬の足音
小田 千代子

日本画 審査評

日本画部門には、水墨画と岩絵具による彩色の二種類による画材で、現在、応募作品が主流となっています。それにより、モチーフのバリエーションがより多くなり、その中からの受賞作品及び入選の方々の作品を厳選し、審査いたしました。

皆様の作品を拝見し、制作する態度の真摯さに、とても喜んでおります。今後、増々この調子で歩みを深めていただきたく存じます。

市長賞



海のしらべ
鈴木 公朗

津市議会議長賞



アイシャ
erina

津市教育委員会教育長賞



双子の鐘楼
堀山 義孝

岡田文化財団賞



雑魚寝の森
篠原 陽子

洋画
審査評

今年は応募作品が増え、確かな技量に支えられた丁寧な作品が多く優劣がつけ難く、苦渋した審査会でした。心休まる自然や穏やかな生活、日常のトキメキ感、世界情勢を反映した作品、個性的な抽象作品まで、誠に多彩なテーマと表現に満ちた充実した内容の展覧会になるものと確信致します。

市長賞



SHIRUBE III AU24 松山 知司

津市議会議長賞



宇宙創世 西井 明

岡田文化財団賞



鹿 満仲 史弥

津市教育委員会教育長賞



渴望 平船 楓果

彫刻 審査評

本年度出品作品は9点と決して多くないが、様々な素材を用いた力作が多く見られ見応えのある彫刻部門となっている。

市長賞を受賞した「SHIRUBE III AU24」は、木を中心とした複合素材で制作され素材感を生かした軽快でリズムカルな秀作です。岡田文化財団賞を受賞した「鹿」は木彫でノミ跡の力強い作品です。入賞した作品は、各々の素材の特性を生かし努力した跡が見られ、市民の方々の目を楽しませてくれると思います。

市長賞



月夜の華
林 千保子

津市議会議長賞



ブロンズ釉 bowl 2024
中村 法道

岡田文化財団賞



渦 流
中尾 美希

津市教育委員会教育長賞



背美鯨穂先皮剥竿 赤糸総巻透漆仕上げ
森 篤夫

工芸
審査評

今年の出品数は30点となり、昨年より7点増となりました。これは、昨今の出品数減少傾向となる中で、非常に喜ばしい事です。工芸部門は分野が多岐にわたりますが、今年は約半数が陶芸作品で、毎年出品されている伊勢型紙の作品は減少しました。少数派の分野も出品数が増える事を願います。

市長賞



待つ
望月 順一

津市議会議長賞



熟睡
村田 良夢

津市教育委員会教育長賞



梅雨の校外実習
平松 宏之

岡田文化財団賞

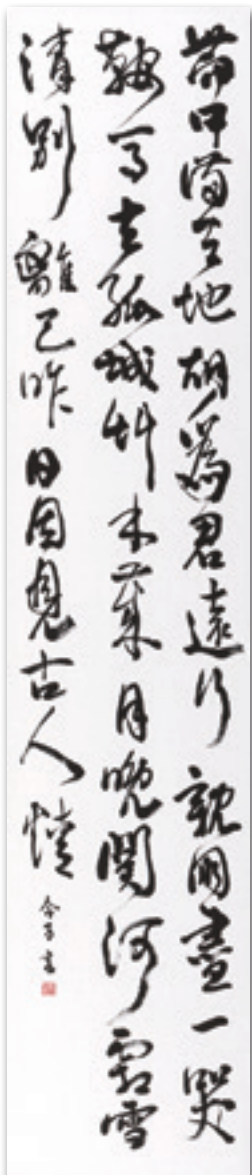


太陽がいっぱい
河原田 誠教

写真審査

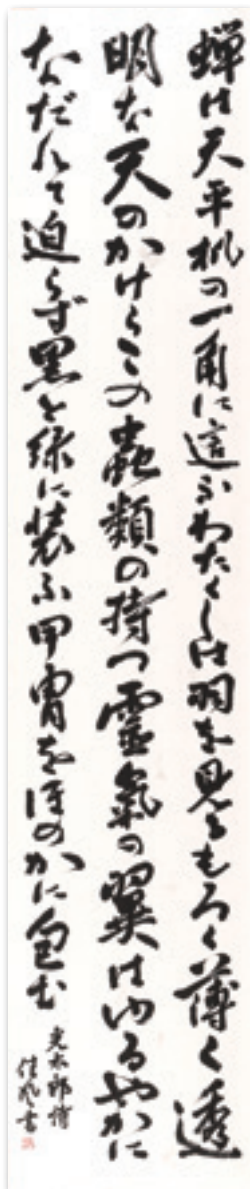
昨年より若干多い92点の応募がありました。お祭りのスナップ、風景、ネイチャーの単写真から組写真とレポーター広く力作が多く厳しい審査となった。
全体的には撮影意図が明確でストーリーがある写真が多く、三重県下でも有数の市展であった。

市長賞



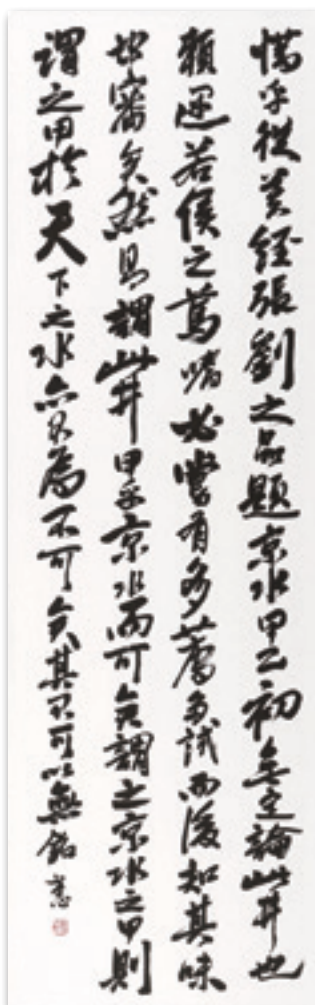
杜甫詩
横谷 令子

津市議会議長賞



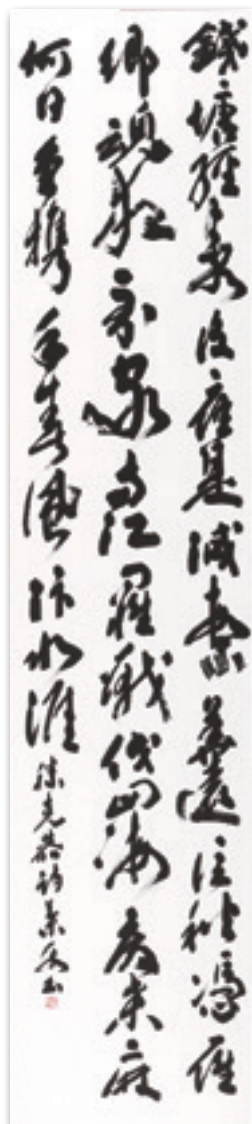
高村光太郎の詩
福本 佳風

津市教育委員会教育長賞



白玉井銘一説
白井 孝心

岡田文化財団賞



藤克恭詩
川崎 葉泉

書
審査評

出品点数は昨年より増加した。鍊度の高さを求められる線、余白を生かした変化に富んだ構成、いずれも古典を基盤に個性豊かな格調高い自分の世界を持った作品に注目が集まった。市長賞は作品構成が素晴らしく古典習熟の成果が出た作品、議長賞は漢字と仮名の調和とが力強い線とまとめられた作、教育長賞は強靱な線、余白を生かした作である。